

第43回特別展

切り出されるいのち

～きりえ&3Dピクチャー～

高木 亮 開高悦子
二人展

きりえ

3Dピクチャー



「ちょうちん」

たかぎ りょう
高木 亮

きりえ画家。「偽本」作家。1971年香川県生まれ。大学在学中独学にてきりえ制作を開始。のち「きりえや」を名乗る。抒情的風景画からパロディ作品まで、多岐にわたる作品中に通底するのは「かわいくて、おかしくて、少しだけ寂しい」世界。

著書

『ねこ切り絵』、『12か月のねこ切り絵』(誠文堂新光社)

『きりえや偽本大全』(現代書館)

『きりえや偽本シネマ大全』()

『きりえや偽本図書館』()ほか

ホームページ <http://kirieya.com/wp2/>



「手記(あなたの思い出)」

かいこう えつこ
開高悦子

3Dピクチャー作家。1952年東京都生まれ。1984年から5年間、夫の赴任先である米国ミシガン州とカリフォルニア州に駐在し、その間に3Dピクチャーの作り方を習得。帰国後1990年から教室を始め、1996年に3Dピクチャー・カリフォルニア・アートという名前で商標登録。独自のスタイルの立体手法を編み出し、時空を切り出す立体絵画を作る事に勤しんでいる。

3Dピクチャー・カリフォルニア会主宰

日本3Dシャドーボックスアート協会共同代表
創作画人協会会員

ホームページ <https://www.3d-picture.com>



絵筆の代わりにカッターを握り、心に浮かぶ光景を描き続けるきりえ画家・高木 亮と、独自のスタイルで立体絵画の可能性を拡げる3Dピクチャー作家・開高悦子。「切ることによって生まれる表現」で結びついた二人による展示です。

2024年3月3日(日)～5月12日(日)

9:00～16:30

休館日 月曜日(4/29・5/6は除く)

入場無料

蕨市立歴史民俗資料館
埼玉県蕨市中央5-17-22
TEL: 048(432)2477

開高在館日:
3/31を除く毎週日曜日
13時～16時

